

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 静岡県ベトナム人協会

1 事業の趣旨・目的 現在浜松市には難民として日本で生活している人を中心に約 1100 人居住している。しかし十分な日本語を話せないため会社の中で日本人との間でトラブルを起こしたりしている現状です。日本社会で通用する生活習慣、マナー等を日本人講師を中心にベトナム難民によるベトナム人のための日本語教室を開き、総べての面でのレベルアップをはかり、日本社会との交流を目的とする。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
第1回 22. 5月29日	三方原カトリック教会	西原鈴子 岩見宮子 川合文男 古橋楓 山田明 杉山克徳 沢田優美 グエンゴック ヒエン ドーティイエ ン グエンバン ビエツ	1.今年度の事業計画について 2.その他	1.日本語教室をどの様に進めていくかということで、西原先生、岩見先生などから指導を受ける。 2.各委員の自己紹介と、この教室に対する希望などを話し合う。 3.その他全般
第2回 22. 10月4日	三方原カトリック教会	川合文男 古橋楓 山田明 杉山克徳 沢田優美 グエンゴック	1.前半の事業計画の反省と今後について 2.その他	1.4月にわたる日本語教室で良かったこと、改善しなくてはいけないことなど細かく各委員より聞き、討論をした。 2.西原先生など欠席でした

		ヒエン ドーティエン グエンバン ビエット		がいろいろな意見が出た。 3.出席率を高めるためどうしたらよいかということなど
第3回 23. 2月27日	三方原カトリック教会	川合文男 古橋楓 山田明 杉山克徳 沢田優美 グエンゴック ヒエン ドーティエン グエンバン ビエット	1. 今年度の事業を振り返って 2. その他	1. 将来の夢を語る会を持って、日本人と仲良くしたい。外出も一人でして、いろいろな所に行きたいという話。 後半になって学ぶ喜びを知り、これからもこのような日本語教室を開いてほしい。 2.まだまだこの教室に来ない人がいるので次の教室はにぜひ出席してほしい。



3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称 ベトナム人のための日本語教室
- ② 開催場所 浜松市三方原カトリック教会
- ③ 学習目標 一人で外出し一人で買い物が出来、病院に行けが旅行が出来るようになることを目標
- ④ 使用した教材・リソース みんなの日本語 1級2級 独自の教材を作成したミニテスト、

クロスワードパズル CD などを利用

⑤ 受講者の募集方法

連絡網を通して教室の開催を知らせた。三方原カトリック教会、
鷺の宮教会、浜松教会にポスターを出した。

⑥受講者の総数 25 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

⑦開催時間数(回数) 66 時間 (全 33 回)

⑧日本語教室の具体的内

回	開催日	時間数	受講人数	国籍母語(人)	教授者・補助者人数	内容
1	6月7日 6:30~8:30	2時間	18人	ベトナム国・ ベトナム人	教授者2人 補助者5人	自己紹介、挨拶の 仕方
2	6月14日 6:30~8:30	2時間	20人	〃	〃	絵カードを用いた 発音練習
3	6月21日 6:30~8:30	2時間	18人	〃	〃	スーパーでの会 話、挨拶など
4	6月28日 6:30~8:30	2時間	16人	〃	〃	住所氏名年令の表 記の勉強
5	7月5日 6:30~8:30	2時間	18人	〃	〃	道案内での会話、 聴き取り練習
6	7月12日 6:30~8:30	2時間	17人	〃	〃	動詞の学習、形容 詞の反対言葉
7	7月19日 6:30~8:30	2時間	20人	〃	〃	体の部位とその動 詞表現
8	7月26日 6:30~8:30	2時間	17人	〃	〃	電話での会話、敬 語の表現
9	8月2日 6:30~8:30	2時間	18人	〃	〃	いつどこでいくら などたずねる
10	8月9日 6:30~8:30	2時間	12人	〃	〃	日本の夏について いろいろ勉強
11	9月6日 6:30~8:30	2時間	16人	〃	〃	夏休みの出来事発 表
12	9月13日 6:30~8:30	2時間	16人	〃	〃	敬老の日について

13	9月20日 6:30~8:30	2時間	15人	''	''	5W1H を使い文章表現
14	9月27日 6:30~8:30	2時間	16人	''	''	食堂での注文、郵便局の勉強
15	10月4日 6:30~8:30	2時間	15人	''	''	買い物、返品交換の仕方
16	10月11日 6:30~8:30	2時間	15人	''	''	日本とベトナムの料理・体育の日について
17	10月18日 6:30~8:30	2時間	15人	''	''	動詞、形容詞などの勉強
18	10月25日 6:30~8:30	2時間	15人	''	''	身体の部位 漢字で書く
19	11月1日	2時間	12人	''	''	CDでの聴解学習
20	11月8日	2時間	13人	''	''	医療に関する勉強
21	11月15日	2時間	12人	''	''	交通機関についての勉強
22	11月21日	2時間	18人	''	''	小国神社へ日本の秋を見学に行く
23	11月22日	2時間	12人	''	''	動詞カードを使って文章表現
24	11月29日	2時間	12人	''	''	病気の名前 今自分の事で気になる事を発表
25	12月6日	2時間	15人	''	教授者2人 補助者4人	ロールカードでの言葉の組み合わせ
26	12月13日	2時間	18人	''	''	クリスマス、お正月の言葉と行事の勉強
27	23.1月17日	2時間	15人	''	''	電話(約束、予約)
28	1月24日	2時間	17人	''	''	クイズによる勉強
29	1月31日	2時間	19人	''	''	訪問の挨拶

30	2月7日	2時間	15人	〃	〃	早口言葉、ミニテスト、 クロスワードパズル
31	2月14日	2時間	17人	〃	〃	ひらがなカタカナ 漢字の読み方書き 方
32	2月21日	2時間	18人	〃	〃	練習問題（ヒアリ ング, 単語の選択）
33	2月27日	2時間	21人	〃	〃	ミニプリントの総 復習、日本語教室 の感想、まとめ

⑨ 特徴的な授業風景(2~3回分)



課外活動 小国神社



書きとりの授業

4 事業に対する評価について

①当初の学習目標の達成状況について

生徒の学習能力も進歩してきているが、日常生活に支障がないように少しずつなっています。しかし、日本語能力検定試験資格を取得出来るまでにはなっていません。日本語を勉強することによって生活にゆとりと楽しみが出来、彼等の毎日が、素晴らしいものになることと希望しています。

②学習者の習得状況

教室は、初級クラスと中級クラスの2クラスに分け、場面設定を中心としたテーマから日常生活に密着した会話の中から様々なヒントを与えながら、生徒の言葉で表現出来る様に指導している。

日本語が上手になりたい。ひとりで外出したい。ひとりで買い物に行きたい。という強い気持ちでテーマ中心の話題に重点をおき、日本語の文法などを学習し、繰り返し繰り返し学習によって日本語の定着化を図っている。

③日本語教室運営の効果・成果

積極的にバイリンガル教師を取得したベトナムの人達による教室運営の効果は、何とんでも仲良くこの教室運営に参加していることです。ベトナム難民による難民のための日本語教室ということで、彼等の意欲と情熱は大であります。今まで積極的に社会参加をしなかった彼等が、自分の意思で参加し協力するというこの姿勢は、明日への明るい光となっています。

④地域の関係者との連携による効果、成果

自治会主催の夏祭り、秋祭りに積極的に参加することによって日本の文化、日本の料理などを学び、そして生活することによって日本語能力を高めています。又、職場見学や観光などをする事によって、いろいろ風習、生活習慣などを学ぶ、地域の自治会の協力は、大きいと考えています。

⑤改善点・今後の課題について(具体的に記述する)

a. 現状

働きながら夜間に教室を開くという現実では、急に残業が入った、疲れて行けないなど、毎回の出席者に変動があったので、どうしたら毎回出席できる方法がないか検討し、日曜日の午後に教室を開く様になって出席率はよくなった。

b. 今後の課題

一人でも多く日本語能力検定試験を受けられる実力をつけさせること。
この教室から次の指導者となる人を育てることです。

c. 今後の活動予定・展望について

この教室を中心にして地域社会の行事参加を多くしていく。又、職場訪問を行ない、学校行

事にも参加をしていくことによって言葉の壁を乗り越えて能力アップを目指していきたい。
又、バイリンガル教師の育成をしていきたいです。